

第七十四回
帝國議會
貴族院

青年學校教育費國庫補助法案特別委員會議事速記録第五號

付託議案(追加)

地方學事通則中改正法律案

青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者

ノ就業時間ニ關スル法律案

昭和十四年三月二十二日(水曜日)午後三時三十八分開會

○委員長(侯爵徳川義親君) 是ヨリ開會致

シマス、青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ關スル法律案ヲ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(廣瀬久忠君) 只今議題ト成リ

マシタ青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、青年學校ノ義務制ハ昭和十四年度ヨリ實施サレル豫定デアリマスノデ、本法案ヲ提出シテ年少勞働者ノ心身ノ保護ヲ計リ併セテ青年學校教育ノ效果ヲ擧ゲムトスル趣旨デアリマス、以上ノ趣旨カラ青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ新タニ制限ヲ加ヘル必要ヲ認メ、茲ニ本法案ヲ提出シテ次第デアリマス、次ニ本法案ノ内容ニ付テ説明致シマス、第一ハ本法ハ現在工場法、鑛業法ニ基ク命令又ハ商店法ニ於テ既ニ就業時間數ノ制限ニ關スル規定

ノ適用ヲ受ケテ居リマスル十六歳未満ノ者デ、青年學校ニ就學セシメラルベキ者ニ付キ、新タニ就業時間ノ制限ヲ設ケムトスルモノデアリマス、第二ニ本法ハ青年學校ニ於ケル一日ノ教授及訓練時間ハ、之ヲ就業時間ト看做スコトヲ規定致シマシテ、其ノ結果一日ノ教授及訓練時間ト就業時間ト通算シテ、ソレノ法令ニ定ムル就業時間ノ制限ヲ超エルコトヲ得ナイト云フコトニ致シタノデアリマス、尙就業時間ト看做サレマスル教授及訓練時間ハ、總テノ教授及訓練時間デハナクシテ、義務課程ト定メラレテ居リマス教授及訓練時間ニ限ラレルノデアリマス、以上ハ本法案ノ概要デアリマス、何卒慎重御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○田所美治君 會期ノ切迫ノ際デモアリマスシ此ノ法案ハ極メテ簡單ナモノデアリマスカラ、之ニ付テハ異議ガアル意味デ御尋スルノデアリマセヌ、唯一、二御尋ラシテ置キタイト存ジマスノハ、青年學校ノ教育ヲ今度義務制ニシタノダ、斯ウ云フコトノ趣旨ハ今更私ガ繰返ス必要モゴザンセヌ、厚生大臣ヲ初メ、皆様御承知ノ通りデアリ

マシテ、實際ニ其ノ業務ニ當テ居ル者ニ義務教育ヲ課シテ、若干……サウシテ産業ヲ第一、次ニ國防、モウ一ツ言フテ文化ノ力其ノ他多クアリマセウガ、マア大體ニ於テ國民ノ總力ヲ増スト、斯ウ云フ意味デアアルデアリマス、而シテ是ハ實ハ現ニ實務ニ從事シテ居ル者ガ大多數殆ト全部デアリマセウカラ、家庭ニ居ル者ノ外ハソレガ五箇年間、或ハ目下普通科ヲ設ケレバ、算用スレバ七年間、之ヲ學校ヘ就學サセルト云フコトハ非常ニ困難デアリマシテ、各種ノ關係機關ガ出來得ルダケ一ツ「ベスト」ヲ盡シテ協力ヲセナケレバ其ノ效果ハ舉ルマイト思ヒマス、義務制ガ長クテ、十數年後デナケレバ義務制ノ實ハ擧ガラス、斯ウ云フコトニナッテハ大變ナンデアリマスカラ、其ノ點デ實ハ青年學校ノ補助費ノ際ニモ質問應答ガ交換セラレタノデアリマス、私ハ贊成ノ意見ヲ述ベマシタ時ニ希望ヲ述ベテ置イタノデアリマスガ、其ノ一ツノ現レトシテ厚生省ノ御協力ガ此處ヘ現レテ來テ居ルト見ナケレバナリマセヌ、モウ一ツ基ク所ヲ言ヘバ、青年學校ノ施設ノ要綱ヲ過日規定シマスル時分ニ、マダ是ハ勅令ニモ

出デ居リマセヌガ雇傭主ノ如キ者ニ一種ノ義務ヲ置イテ、先ヅ以テ就學ヲ妨グルコトヲシテハナラヌゾト、斯ウ云フ勅令上ノ義務ガアル、恰モソレガ小學校ノ教育ニ於ケルガ如シ、斯ウ云フコトダケハ要綱ニ決マシタ、ソレデマア詰リ是ガ現レテ來マシテ、ソレガ一步進ンデ、就業時間ノ中ニ算用セラレ、就學時間ガ……而シテ保護ヲ與ヘル、賃錢等ハ當然給與セラレル、斯ウ云フコトデアリマセウ、ソレダケハ足ラスノデアリマス、況ヤ是ハ滿十六年未満ノ者デアリマシテ、前ノ法律ニ規定シテアル年齢ヲ御取リニナッタヤウデアリマスガ、寧ロ心配ナノハ十六以上十七、十八、十九、實ハ是ハエライ話デアリマス、コンナコトハ出來ルカト私共ハ初メハ思ッタノデアリマス、マアヤルト云フコトデ掛リマスカラ、其ノ方ノ何ヲ周到ニ御配慮ニナラスト云フト、十六歳以上ハ構ハヌ、斯ウ云フコトデハ第一アッテハナラヌノデアリマス、ソナコトヲ考ヘマシテ、是ハ教育審議會デ審議シタ時分ニモ、審議會ノ方デハ答申ヲ付ケマシテ、其ノ法律上ノ「ネガティブ」ノ義務ノ外ニ、雇傭主ニ對シテモ相當ノ義務ヲ課

スルコトハ就學督勵上勿論必要デアリマス
ガ、如何ナル程度ニ於テ之ヲ強制スベキカ
ハ相當熟慮ヲ要スルコト思ハレマスノデ、
本會ニ於ケル各種ノ論議ヲ考察シテ、當局
ニ於テ勞働ニ關スル主務官廳トモ協議シテ、
最モ妥當ナル方策ニ出デラレムコトヲ希望
スル次第デアリマス、斯ウ云フコトヲ希望
條項トシテ述ベテ居リマス、實ハ是ガ「リ
ヤライズ」出來ヌト、唯、今度ノ制限ダケ
デ後ハ厚生省ハオ構ヒナシ、協力モセヌ、
斯ウ云フコトデアリマス、産業ノ力ハ目
前ニハ減リマスマイケレドモ、就學ノ義務
ノ普及徹底ハ出來ヌ、斯ウ云フコトニナル
ダラウト思フノデアリマス、色々ノ御尋ネ
方ハアリマセウケレドモ、一ツ極ク自由ナ
御答ヲ得ル爲ニ、此ノ法律以外ニ今後ドウ
云フ協力ヲ惜マズニヤッテ見ヨウ、斯ウ云フ
御考ガ厚生大臣ニ御アリニナレバ其ノ點ヲ
承ッテ置キマス、或ハ又其ノ御答ニ依リマシ
テ、私ノ大半ノ心配ハ解ケルダラウト思ヒ
マス、モウ少シ具體的ニ申シマス、是ハ
法律ニ依ッテ、法律ニ規定シテアル制限ノ又
ソレニ關スル規定デアリマスカラ、是ダケ
デアリマスガ、十七歳カラ十九歳迄ニドウ云
フコトヲ御考ニナッテ居リマスカ、即チ其
ノ義務制ノ就學ヲ妨ゲルコトヲ得ズ、斯ウ

云フコトヲ言ヘバ、一步進メバソレヲ獎勵
シテ、其ノ法律ノ……其ノ勅令ノ義務、今日
デ言ヘバ勅令デアリマセウ、勅令ノ義務制
ノ義務ヲ完ウセシメナケレバナラス、貫徹セ
シメナケレバナラス、斯ウ云フコトニ付テ
ハドウ云フヤウナ工場商店等ニ對シテ、法
律以外ニ或ハ命令デ、或ハ省令ニ依リマシ
テナリ、斯ウ云フコトヲヤッテ見ル積リダ、
斯ウ云フ御考ガアレバソレヲ承ッテ置キタ
イノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ矢張
リ十七歳ニナッテモ十九歳迄ハ就學サセル、
斯ウ云フヤウナコトガ實行セラレヌト、ソ
レハ初メニ完ウシテ、終リニ丸デ穴ガ明イテ
居ルト云フヤウナ就學獎勵法ニナルダラウ
ト思フノデアリマス、何かソレハ法律ヲ俟
タヌデ勅令、或ハ省令デヤッテ見ル積リデア
ル、文部省ノ省令デヤルカ、或ハ厚生省ノ
御考ニ依ル命令デヤルカ、其ノ御考ガ今ア
リマスガ、是ハ三年後デアルカラ其ノ時ヤ
ルト云フ御考ナラソレデモ、ソレ迄ニ完璧
ノ御調べヲ願ッテ置カナケレバナラス、斯
ウ云フコトニナルノデアリマスガ、先ヅソ
レヲ一ツ伺ッテ置キマス

○國務大臣(廣瀨久忠) 十六歳ヲ以テ今
ハ此ノ法律ノ適用ノ範圍ト致シテ居ル譯デ
アリマス、ソコデ御心配ノ點ハ十六歳以上
ノ者ニ付テモ矢張り同ジヤウニ、就業時間
ニ付テ制限ヲシナイト趣旨ガ徹底シナイデ
ハナイカ、誠ニ御尤ニ存ジマス、唯私共ノ
方カラ見マスと云フト、此ノ現在十六歳未
滿ガ保護職工トシテ保護サレテ居ル譯デア
リマス、ソレ以上ノ職工ハ就業時間ニ付テ
ハ一應制限ノナイ形ニ、制度上一般ノ制
限ハナイノデアリマス、ソコデ此ノ勞働法
規トシテ十六歳以上ノ者ニ付テハ此ノ保護
ヲ擴ゲルト云フコトニナリマス、現在カ
ラ見マスルト、十六歳カラ二十歳迄ノ間ノ
勞働者ノ働ト云フ者ガ、産業上ナカノ重
要ナモノデアリ、教育ノ上デモ必要デアリ
マスガ、非常ニ産業上デモ重要デアル、ソ
コデ現在保護職工ノ範圍ヲ擴ゲルト云フコ
トハ餘程考ヘナケレバナラスムヅカシイ問
題、産業上ノ點カラ非常ニムヅカシイ問題
デ、ソコデ先ヅ今日トシテハ保護職工トシテ
現ニ用ヒラレテ居ル十六歳以下ノ所デ、此ノ
規定ヲ致シテ置イテ、サウシテ一般ノ産業
ニ對シテ、今ノヤウニ事變ニ於テ産業上非
常ニ勞働ニ對スル要求ノ強イ時ニ、十六歳
以上ノ者ニ觸レタ規定ヲ設ケルコトハドウ
カ、寧ろ是ハ此ノ際避ケテ置イテ、將來一
ツ十分研究ヲシテ行カウ、殊ニマア義務制
ガ施行サレテモ當分時間モアルコトデアリ

マスカラ十分研究ヲシテ行カウ、將來ノ問
題トシテハ此ノ點ハ非常ニ御説ノ通り重要
ナ問題デ、サウシテ産業ニ對スル影響、教
育ニ關スル關係、兩方カラ能ク睨ミ合セテ
尙能ク十分ニ研究シテ行キタイ、今日ノ現
狀ニ於テハ先ヅ十六歳ヲ以テ制限ノ規定
ノ適用範圍トシテ置クカ、十六歳以上ノ問
題トスルカハ將來ノ問題トシテ十分研究ヲ
シテ行カウ、斯ウ云フ積リデアアルノデアリ
マス

○田所美治君 法律ヲ以テ改正スル、工場
法ヲ改正シ、鑛業法ヲ改正シ、或ハ商店法モ
改正スルカ云フ法律ノ問題ニナリマス、ト
ソレハ一ツマダ期間ノアルコトデアリマス
カラ考ヘルト云フコトデ十分ダラウト思フ
ノデアリマスガ、勅令或ハ省令デ、兩省ノ
省令ガ要ルカモ知レマセヌガ、或ハ勅令省
令デ出來ルコトカモ知レマセヌガ、此ノ前
ノ一體青年教育ヲ義務制ニスル場合ニ、是
ハ厚生大臣勿論御承知デゴザイマセウガ、
其ノ前ノコトモ、數年前ノ平生君ガ文部省
ニ居リマシタ時分ノコトナドモ新聞ニ散見
シタリ、話モ聞キマシタガ、雇傭主ニハナ
カナカ重大ナ責任ヲ負ハシテ居ッタヤウニ
思フノデアリマス、先達テ來義務制、今度
ノ義務ヲ法律デ何故ヤラヌカト、斯ウ云フ

御質問ガアッタ、其ノ中ニ平生文相ノ時分ニハ法律デヤッタ案モ出来テ居ッタヤウニ承知シタ、斯ウ云フ御尋ガアッタヤウデアリマスガ、其ノ唯一ノ條項デス、私ハ唯一ノ條項ト思ヒマス、其ノ唯一ノ條項ハ即チ此ノ場合ニ保護者ノ……義務教育ナラ年限延長デアリマスガ、雇傭者ノ就學獎勵ノ義務ヲ果サナイ場合ニ於テノ制裁ノ規定ヲ設ケル、ソレハ法律ガ要ルカラ、斯ウ云フ意味デ加ヘラレテ居ッタ案ガ義務教育ノ時ニ出来マシタ、續イテ又最近ソレニ倣ッテ今度ノ青年教育ヲ現當局ガ諮問シマシタ場合ニ、是ハ教育審議會ノ關係デアリマシタガ諮問シタ場合ニ、矢張り是ハ勅令ニスル、法律ニスルト云フ問題ハ別問題ト致シマシテ、保護者ノ義務ニ對スル制裁ハ矢張り課シテ居ッタ、ソレハ審議會ノ末ニ其ノ條項ヲ削リマシタ、私共ハ削ル論者ノ一人デアッタノデアリマスガ、ソレハ日本ノ父兄若シクハ國民ノ向學心ト云フモノニ依頼シテ宜シイ、今日迄國民教育スラサウシテ居ルカラ、之ニ續クト言フカ、是同様ノ重サヲ持チマセウ、青年教育ニ速カニ法律ヲ以テ制裁ヲ附スルト云フ迄ノコトヲ考ヘル必要ハナイ、斯ウ云フ意味デ全會一致ニナリマシテ制裁ヲ取レ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、即

チ途中デ此ノ案ハ當局デ撤回ヲシマシタ、サウシテ制裁ナシノモノニナリマシタ、其ノ代リトシテ詰リ其ノ精神ハ同ジコトデアリマスカラ、只今先程讀ミマシタヤウナ、唯妨ゲザルノミナラズ相當ノ獎勵方法ヲ雇傭主ニ義務ヲ負ハス、斯ウ云フコトガ必要ダカラ文部當局ト主管官廳ト協議シテ妥當ナル方策ニ出デラレムコトヲ望ムト云フコトニナリマシテ、制裁ニ代ヘルニ道德上ノ行政廳ノ獎勵方法デ督勵ヲスル、斯ウ云フコトヲ主管官廳即チ厚生省ト協議ヲシテヤルヤウニ、斯ウヤッタノデアリマスカラ、是ハ一ツノ重點ナンデス、デ其ノ現レデ一部此處デ出来テ參リマシタガ、是ガ義務ニナリマスノハ二年先デアリマスケレドモ、十六歲以上ノ義務ニナッテ來ルノハ三、四年先デアリマセウガ、今日ニ於キマシテモ之ヲ御出シニナルト同時ニ一人デモ餘計任意制ノ今日デモ就學ノ獎勵ト云フモノヲ御執リ願ハスト困ル、國運ノ進歩上必要デアルト云フ國防力ノ増進上必要デアアル、産業力ヲ殖ヤスニ必要デアアル、斯ウ云フ意味カラ掛カッテ參リマシタカラ、先以テ義務制ニナッタ部分ダケハヤッテ置イテ、後ハ三、四年先ニヤルト云フコトデアッテハ緩慢極マルト思フノデアリマス、法律ガ要ルナラバ立法事項ハ

此ノ議會ニハ間ニ合ヒマスマイカラ、次ノ議會ニ出スヨリ外仕樣ガナイト思ヒマスガ、命令以下デマダソコ迄御考ニナッテ居ラスケレバ是非御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、サレバソレハドウスルカト云フコトニナルト、文部省ダケデハ分リマスマイ、工場鑛山其ノ他仔細ナ現状ニ基キ、又將來出來得ル方法ヲ法律ニ依ラズシテ御執リヲ願フト云フコトモ亦爲スベキ事ガ澤山アルガラウト思ヒマス、其ノ邊ニ付テ何カ又ヤッテ見ルト云フヤウナコトガ、此ノ法律以外ニアリマシタナラバ參考ニ承ッテ置キタク存ジマス、ソレダケマア伺ッテ見マセウ

○國務大臣(廣瀨久忠君) 現在ノ所ト致シマシテハ御心配ノ點誠ニ御尤デアリマスガ、又一面非常ニ産業上ノ關係モアリマスモノデスカラ、工場法或ハ鑛山法ノ所謂保護職工制度ヲ變ヘルト云フコトハナカ／＼ムジカシイ點ガアルト思ヒマスガ、併シ今御話ノヤウニ法ヲ變ヘナイデ何等カノ方法ハナイカ、現在義務制デナイ青年學校、此ノ問題ニ付テハ私共ノ方デモ事實上ノ行政手段トシテノ獎勵トシテ、勞働ノ見地カラ見テモ過重ノ負擔ニナライヤウニ、サウシテ教育ノ效果モ舉ゲルヤウニ行政上ノ手段トシテモ今モ獎勵シテ居ル、適當ナ方法ヲ執

ルヤウニト云フノデ獎勵ヲ致シテ居ル、ソコデ矢張り行政上ノ手段ダケデ宜シイカドウカト云フ問題ガ又起ルノデアリマスガ、之ニ付テハ矢張り保護職工制度自體ト關聯シマスルノデ、尙十分ニ研究ヲ致シマセヌトナラス、或ハ之ニ付テ法律デ以テ將來十六歲以上ノ者ニ付テハ別ノ方法ヲ執ルカ、勅令省令等ノ方法ヲ執ルカト云フコトニ付テモ尙一ツ研究サシテ戴キタイト思ッテ居リマス、今ハ行政上ノ手段ヲ以テ適當ナ方法ヲ執ルト云フコトニ致シテ居リマス

○田所美治君 是ハ厚生大臣ノ御話ノ、現在軍需其ノ他ノ工業ノ盛ナ時分ニ一時間、三十分モ抜ケラレテハ困ルト云フ、斯ウ云フ情勢デアルト思フ、ソレハ勿論十分想像ガ出來マスガ、産業ノ力ヲ増スト云フコトガ理由ニナッテ居ルヤウデスネ、此ノ義務制ヲ採ッタト云フコトハ……必ズサウダラウト思フノデス、此ノ青年學校ヲ文部省ガ工夫シマシタ要綱案ニ付キマシテモ、決シテ是ハ畫一ドコロデハナイ、其ノ地方ノ産業ト云フモノニ最モ適切ナル方法デ非常ナ「バライテイ」ヲ作ッテヤラウ、是ハ繫デ文部省ノ施設ニアリマスガ、即チ學校ヲヤレバ工場ハ力ヲ増ス、産業力ガ殖ユル、一時

間ノモノガ一時間半或ハ二時間ノ働ヲ學校ノ爲ニ覺エテ來ル、斯ウ云フコトガ相俟チマシテ此ノ制度ガ出來テ居ルト、斯ウ私ハ了解シテ居ル、工場主ニ於キマシテモ一日一時間トカ是ハマア全體デ二百時間デアリマスカラ此ノ法律ニ出テ居リマス就業時間ノ中ヘ、就學時間ヲ加ヘテヤルト云フコトハ、是ハ大キナコトノヤウデ實ハ差引スルト工場主ガ得スル話デ、ソレダケ適切ナコトヲ覺エテ來ルノデアリマスカラ、喜ンデヤラナクテハナラス、無論賃銀ヲヤッテモ宜シイ、時間割ノ賃銀ヲ差引クナント云フコトハシナクテモ宜シイ、斯ウ云フコトダラウト思ヒマス、其ノ考ガ能ク工場主ニ徹底ラシマシタナラバ、固ヨリ皆向學心ノ強イ國民デアリマシテ、只今申上ゲタヤウナ徑路ヲ取ッテ居リマシテ、制裁迄モナクシテシマッテ、工場主ニ一罰金ヲ課スル斯ウ云フ規定迄ナクナッテシマフ、斯ウ云フ場合デアリマスカラ、少ノ御督勵ヲ願ッテ、文部當局ヲ助ケテ御ヤリニナツタナラバ、其ノ點ハ餘程便宜ヲ得ラレヤシナイカ、斯ンナヤウニ思ハレルノデゴザイマス、厚生大臣ハ固ヨリ内務行政ニ精通ノ御方デアリマスルシ、又近來御配下ノ工業ハ御周知ノコトデアリマスルカラ、其ノ邊ニ付テ一番篤ト御考ヲ願ヒマシテ、

今ノ保護年齢ト申シマスカ、保護兒童ト云フカ、保護職工ト云フカ、保護職工ノ年齢ヲ思ヒ切ッテ十九迄ニシテ戴キタイ、ソレガ行ケバ此ノ上モナイ、法律デモ十九歳未満ノ者ト、假令ハ工場法、工業法等、色々労働時間モ關係モアリマセウカラ、ソレハ只今十六歳デアリマシテモ、此ノ就業ガ此ノ法律ノ關係ニ於キマシテハ、法律デヤレバ十九歳迄ヤッテシマッテ差支ナイデヤナイカ、其ノヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、併シソレハ一步譲ッテヤルトナレバ、只今ノヤウナヤリ方ガ爲シ得ルコトデハナイダラウカ、序デニ御話ガアリマシタカラ伺ッテ置キマスノハ、現在從來工場ダトカ、或ハ鑛山ダトカ、鑛山ハ少シク厄介カモ知レマセヌガ、工場主ノ分ッテ居ル者ハ、毎日一時間トカ、三十分トカ、是ハ二百時間デアリマスカラ、實ニ僅カナモノデアリマス、若シソレ教練デモ止メニシマスレバ數十時間、七八十時間位、マア「ミニマムアワー」デヤレバ宜イ、斯ウ云フ譯デアリマスカラチョット竿頭一步ヲ御進メ下サレバ、此ノ法律ノ趣旨ハ滿十九迄及ビ得ル施設ガ直チニ出來ハシナイカ、斯ウ思ヒマスガ、關係スル所ノ私共産業上カラ外ニモ事情モアラウト思ヒマスカラ、此ノ邊ハ十分御考慮ヲ私

ハ願ヒタイ、斯ウ思ッテ居リマス、何カ御考ガゴザイマスレバ此ノ際承ハリタイ
○國務大臣(廣瀨久忠君) 此ノ問題ニ付キマシテハ尙御心配ノ點誠ニ御尤デアリマス、現在ハ行政上ノ手段デヤッテ居リマスルガ、將來ノ問題トシテ十分研究ヲサシテ戴キタイト思フノデアリマス
○田所美治君 モウ一ツ伺ッテ置キマス、チョット申上ゲマシタ此ノ工場法ヤ工業法等ニ依リマス商店法ハマア此ノ間私共關係致シマシタガ、其ノ何デゴザイマスカ、其ノ所謂保護年齢デスカ、保護年齢ト云フモノモハ本法ハ其ノ儘ニシテ置イテ斯ウ云フ趣旨ノ此ノ法案ヲ擴張スルト云フコトハ出來ルコトデゴザイマスカ、マア極ク分リ切ッタコトデアリマスケレドモ御尋シテ置キマス、例ヘバ此ノ法律ヲ今度マア産業上ノコトハ第二ニ御考ニナッテ、或ハ私ノ申スヤウニソレハ學校ニ行ツタ方ガ産業ガ増スノダト、思ヒ切ッテサウ云フ案ヲ御出シニナッテモ私ハ差支ナカッタモノデアラウト思フ者デアリマスガ、今修正スルト云フ御考ハアリマセヌケレドモ、直チニハ是デ間ニ合ヒマスカラ厚生大臣モ將來考ヘルト云フコトデアリマスカラ、十六歳未満ト云フコトヲ十九歳未満ノ者ニ付テト云フコトヲ此處

デイキナリヤッテシマッテ外ノ労働法規等ノ關係ニ付テハ何等障害ガナイト私ハ思ヒマスガ如何デゴザイマスカ
○政府委員(成田一郎君) 私カラ一應御答ヲ申上ゲマス、只今ノ御意見御尤ト存ジマスガ、今ノヤウニ致シマス爲ニハ工場法或ハ商店法ニアリマス十六歳未満ト云フ言葉ヲ換ヘテ行カナケレバナラヌコトニナリマスノデ、サウ致シマセヌト此ノ法律ノ方ガ動イテ參リマセヌノデアリマス、其ノ個々ノ法律ニ定メテアリマス就業時間ノ制限ニ合セテ行クト、ソレト通算スルト云フノガ本法ノ建前デゴザイマスカラ、今ノ御話ノヤウニ致シマス爲ニハ其ノ元ニナリマス工場法、商店法等ノ規定ヲ改正致スコトガ前提トナルト考ヘマス
○田所美治君 其ノ意味ハ、尙伺ヒマスガ、工場法等ニ於テ十六歳ノ限度トシテ何時間以上ハイカスゾト斯ウ書イテアル「スタンダード」ガアル爲ニ、ソレト適應セシメル爲ニ此ノ法律ノヤウニ十六歳ト今ノ所デハシテ置カナクチャイカヌト、斯ウ云フコトデ以テ十七歳以上ハ法律ハ無制限ダカラ、十何時間ヤラウ、十四時間ヤラウガ何時間ヤラウガ差支ナイト、斯ウ云フ譯デアルカラ、此ノ法律ノ斯ウ云フ形式ノ下ニハソレ

ハムヅカシイト云フコトデアリマシテ、若シ夫レ學校ニヤルコトガ數十時間、百時間ニ足リマセヌ、私ノ考デハ百時間位ノモノデアリマセウ、一年ニソレ位ヤルト云フコトハ産業ノ力ヲ増スコトダカラ宜イコトダト、斯ウ云フコトナラバ勅令以下デモ私ハ出來ルカト思ヒマスガ、ソレモ序デニ政府委員カラ伺ッテ置キマスガ、之ヲ通シテシマッテ後ハ三年四年後迄ハ待タナクチャナラスト云フモノデナシニ、政府ノ御考デソレガ出來ルト云フモノデアリマセウカ、ソレモ伺ッテ置キマス、二ツ、其ノ點ヲ伺ッテ置キマス、私ハ斯ウ云フコトガ出來ハシナイダラウカト、即チ十三時間ヤッテ居ルモノナラバ、學校ニ二時間行ケバ、ソレデ矢張り十三時間ト云フ働ト看做シテヤルト、斯ウ云フコトガ此ノ法律ノ働ニ依ラナイデ、或ハ保護年齡ノ「スタンダード」ニ依ラナイデ出來ハシナイカ、假ニ或工場デ十三時間働カセテ居ル所ニ二時間行クト云フ時ニハ、宜シイ、就業時間ニ看做シテヤラウト、斯ウ云フコトガ出來マスカ、ソレハ出來ルダラウト思ヒマスガ……

店其ノ他ノ法律ヲ土臺ニ致シマシテ、此ノ中ニ書イテアリマス就業時間數ト云フモノヲ前提ト致シマシテ規定ヲ致シタノデアリマスカラ、是ハ立法技術ノ問題ニナルカモ存ジマセヌガ、此ノ形ノ儘デハ今御話ノヤウナコトニ直ニ參リ兼ネルノデアリマス

○田所美治君 私ハ立法ノ形式ナドヲ御尋ネシテ居ルノデアリマセヌ、唯サウ云フ點ヲ擧ゲテ戴キタイ、ソレガ厚生省ノ矢張り生ノ目的ヲ達成スル上ニ付テモ、亦教育ノ目的ハ勿論デアリマスガ、根本ヲ貫ク上ニ於テモ、ソコガ兩省ノ御協力ノ全キヲ期スルダラウト斯ウ思ヒマスカラ、ソレハ其ノコトニシテ之ヲ全部大臣ノ言ハレルヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ法律ノ形式論デハ些トモナイノデアリマス、私ハソレダケ……

○委員長(侯爵德川義親君) 其ノ他ニ御質問ハゴザイマセヌカ、デハ討論ニ移リマシマスガ、御意見ハゴザイマシマス

○田所美治君 本案ニ對シテハ異議ゴザイマセヌ、唯、今申上グルヤウナ希望ヲ御實行ニナリタイノデアリマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵德川義親君) 本法案ハ、青年學校ガ義務制ニナツタ關係上當然必要ナ

モノダト思ハレルノデアリマスガ、皆様御異議ガナケレバ之ヲ可決致シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵德川義親君) デハ可決致シマス、ソレデハ引續キマシテ、地方學事通則中改正法律案ニ移リタイト思ヒマス、御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(小柳牧衛君) 只今議題トナリマシタ地方學事通則中改正法律案提出ノ理由ヲ私カラ御説明申上、ゲタイト存ジマス、青年學校教育義務制ノ實施ニ當リマシテハ、市町村ノ狀況ニ依リ、青年學校生徒ノ教育事務ヲ他ノ市町村等ニ委託シ得ル途ヲ拓クノ必要ガアリマスルコト、尙此ノ機會ニ字句ノ整理ヲモ併セ行ハムガ爲、同法中二三ノ改正ヲ爲サントスルモノデアリマス、何卒慎重御審議アラムコトヲ切望致ス次第デアリマス

○田所美治君 此ノ第五條ノ「兒童教育事務」下アル「兒童生徒教育事務」、「生徒」ト云フ字ヲ御加ヘニナツタ、是ガ眼目ダラウト思ヒマス、ソレカラ「郡」「郡制」ハ、其ノ儘ニナツテ居ッタノデ、郡制廢止後其ノ儘殘ッテ居ッタカラ、整理シヨウト云フ極ク簡單ナモノダト思ヒマスガ、是ハ整理ヲナサルコトハ

結構デアリマスケレドモ、此ノ地方學事通則ト云フモノハ、義務教育ダケノ關係デハナイノデアリマセウネ、例ヘバ第三條ニ「幼稚園ニ關スル費用」ナドト云フノデ、幼稚園ト云フコトモ出デ居リマス、地方學事通則ト云フノハ私モ義務教育關係、國民教育ノ義務ノ關係ノモノダト存ジテ居リマス、市町村制ニ是ハ關係ヲ持ッテ來ルモノデアアルカラ整理スル、斯ウ云フ風ニ解釋シテ居リマスガ、併シ幼稚園ニ關スル費用モ入ッテ居ル、サウナルト、五條ハ「兒童教育事務」ト云フコトデアリマスカラ、此ノ兒童ト云フ中ヘ矢張り幼稚園ノ生徒モ含ムモノダト云フ解釋デ、此ノ學事通則ハ改正シナイデモ宜イモノデヤアルマイカト、斯ウマア御尋ネシテ見ヨウト思フノデス、若シ嚴格ニ言フト、之ニ幼稚園ト云フ字ガ入ッテ居レバ、幼稚園ニ關係シタ幼兒ト云フモノモ附加ヘテ、兒童デモナイ、生徒デモナイ、幼稚園ノ幼兒ト云フモノヲ附加ヘナケレバナラスト、斯ウ私ハ思ヒマス、第五條ノ委託事務ノ如キハ、生徒ダケデハナク、幼兒ト云フモノモ御加ヘニナラナケレバナラスノデヤナイカ、斯ウ云フヤウニ思ハレルノデアリマスガ、聊カ法制局ノ參事官ミタイデアリマスケレドモ、チョット伺ヒタイ

○政府委員(田中重之君) 只今御話がゴザ

イマシタヤウニ、地方學事通則ハ、地方ニ於キマシテ教育ヲ運行シテ行キマスル上ニ於キマシテ、地方制度ニ涉リマス部分ガゴザイマスルノデ、其ノ地方制度トノ相關涉致シマスル部分ニ付キマシテ、種々ノ特例ヲ設ケマシタ爲ニ出來マシタ法律デゴザイマス、從ツテ地方學事通則ノ中ニ規定致サ

レテ居リマスル事項ハ、必ズシモ義務教育、即チ從前デ申シマスレバ尋常小學校ノ義務教育ニ關スル部分ノミデハナイノデアリマス、唯併シナガラ第五條ニ於キマシテハ、「兒童教育事務」ト書イテアルノデゴザイマシテ、「此ノ兒童」ト申シマスルノハ、申

ス迄モナク、我が國ノ法令ノ用語カラ申シマシテ、小學校ノ兒童ヲ申スノデアリマシテ、青年學校ノ如ク、後ニ段々大キクナツテ參リマスルト、滿十九歳ノ者迄モ含ムト云フヤウナ實情モゴザイマスルシ、從來ノ用例カラ申シマシテモ、只今申シタヤウナコトガゴザイマスルノデ、今回サウ云フ改正ヲ致シタイト存ジマシテ、改正案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、只今御話ノ點ハ實ハ内部ニ於キマシテモ、「兒童」ト云フモノヲ廣ク解釋スレバ宜イノヂヤナイカト云フヤウナ話合モアツクノデゴザイマスガ、只今申上

ゲマシタヤウナ從來ノ言葉ノ用例カラ申シマシテモ、又青年學校ノ生徒ノ實情カラ申シマシテモ、矢張り此ノ際「生徒」ト云フ文字ヲ此處ニ書キ替ヘルガ適當デアラウト斯ウ云フ結論ニ相成リマシテ、大變簡單ナコトデゴザイマスルガ、改正案ヲ提出致シマシテ、御審議ヲ煩ハシマシタヤウナ次第デゴザイマス

○田所美治君 御説明ハ分リマシタ、ソレハ御ヤリニナル方ガ宜カラウト思フ、御ヤリニナルナラバ、「幼兒」ト云フ字ヲ入レテ、矢張り幼兒、兒童、生徒ト斯ウヤラナケレバ、是ハ滿點デヤゴザイマセス、併シマア是ハ其ノ意味カラ見テ、及第ニ致シテ置キマス

○政府委員(田中重之君) 私ノ説明ガチヨット足リナカツクノデゴザイマスガ、地方學事通則ハ只今御話ノゴザイマシタヤウニ、各種ノ教育施設ニ適用致サレルノデアリマ스가、此ノ中デ第五條ニ於テ、教育事務ノ委託、是ハ強制シテ委託スルノデゴザイマシテ、相手ノ市町村ニハ受託ノ義務ガアルノデゴザイマス、サウ云フ受託ノ義務ヲ課シマスルヤウナ部分ハ、是ハ相當制限シテ然ルベキモノデアラウト考ヘラレマスノデ、從前ノ法律ニ於キマシテハ、小學校ノ場合

ダケニ限ツテ居ッタノデゴザイマス、今回「生徒」ト云フ文字ヲ加ヘルノデゴザイマ스가、第五條ニゴザイマスルヤウニ、其ノ委託事務ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ限ル次第デゴザイマシテ、當局ノ只今ノ考ヘト致シマシテハ、兒童及生徒ノ教育事務ト致シマスルケレドモ、差當リハ之ヲ義務教育ノ部分ニ矢張り限ツテ勅令ヲ運用致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、其ノヤウナ次第デゴザイマスルノデ、此ノ際此ノ第五條ノ改正ニ「幼兒」ト云フ文字ヲ加ヘマスルコトハ、實ハ考ヘテ居ラナカツタヤウナ次第デゴザイマス

○委員長(侯爵德川義親君) 其ノ他御質問ハゴザイマスマイカ

○男爵大森佳一君 質問ハアリマセヌ

○委員長(侯爵德川義親君) 討論ニ移リマ스가、別ニ御意見ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵德川義親君) ソレデハ是ハ御異議ナイモノト認メマシテ、可決致シタイト思ヒマス……デハ可決致シマス、ソレデハ是デ散會致シマス

午後四時十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵德川 義親君

副委員長 子爵清岡 長言君

委員 男爵紀 俊秀君

下村 宏君

男爵大森 佳一君

田所 美治君

細田安兵衛君

岩崎 清行君

國務大臣

厚生大臣 廣瀨 久忠君

政府委員

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省社會教育局長 田中 重之君

文部書記官 柴沼 直君

厚生省勞働局長 成田 一郎君